

Buddycomを導入して良かったこと

“現場対応やお客様対応で  
即座に誰かに確認を取ることができ、  
スタッフとお客様双方のストレスが軽減

スポーツ

競技運営



今回、ブラックラムズ東京のホストゲームにて運営関係者約50名でBuddycomを利用しましたが、トランシーバーで運用する場合は機材調達のコストがかかることから、端末は代表者が持つようになるのを、Buddycomはスマートフォンがあれば利用できるため新たに機器を準備する必要もなく、より多くの人が持つことができました。試合会場では、スタッフ間でちょっとしたことでも会話するようになり、コミュニケーションがスムーズに取れるようになったと感じています。

必要に応じて複数グループの会話を聞くことが出来るので、統括する立場の人間はチャンネルを都度切り替える必要が無い点がトランシーバーよりも便利です。管理者が利用者のグループ分けなどを行えるため、外部の人（協力会社）と社内の人で会話の秘匿性を守ることが出来ます。



## 導入前の課題

広い試合会場では運営面、安全面等から各担当区域に配置されたスタッフ間でのコミュニケーションは欠かせませんが、トランシーバーなどは数に限りがあるため、コミュニケーションが取れるスタッフが限られており、急ぎの場合はトランシーバーで連絡を受けた人が情報を伝えたい相手を探すという事がありました。

## 導入した理由

トランシーバーを持たずにスマートフォンで済む点の利便性の良さや、Buddycomでチャンネルに相当するグループを作ること、役割に応じたチャンネル分けや都度チャンネルを切り替える必要なく複数グループの会話を聞くことができる点や、お客様対応中などに話しかけられた内容を後からテキストで確認できる点で非常に有効なツールだと思いました。



# ジャパンラグビー リーグワン2022の 競技運営やVIP対応で活用

ブラックラムズ東京の-hostゲームで競技運営、VIP対応など、当日は広い競技場内で各所に散らばっているスタッフ間のコミュニケーションツールとしてBuddycomを利用しました。

VIP対応では、お客様(VIP)が会場に到着した際に〇〇様が到着したという事を共有し、対応に失礼が無いようにしました。また、会場内で不具合が発生した際に、連絡を受けた責任者が現場に向かうという運用を行っておりました。

競技運営では会場内の設備の配置等に関する細かい確認事項の共有や、急遽強風や天候悪化があった際に、会場内の設置物の移動や撤去などの連絡、確認などが出来る事を想定していました。



## 導入検討中の方へのメッセージ

トランシーバーがあると便利、或いはトランシーバーの利用を想定している業務があればBuddycomと比較検討する事で良さが分かります。

社外の協力会社の方にもBuddycomを使っていただきましたが、インストールやアカウントの設定、利用方法などについては簡単な手順書を共有するだけで詳しい説明は無くても皆さん使えていたので、その操作性もBuddycomの魅力だと思います。



株式会社サイエンスアーツ

WEB: [www.science-arts.com](http://www.science-arts.com)  
Service: [www.buddycom.net](http://www.buddycom.net)  
お問い合わせ: [info@science-arts.com](mailto:info@science-arts.com)

